



時代行列や火縄銃実演

甲冑姿で中川町長も参加

時代行列

午後1時になると、衣料品店「よしとファッションセンター」前から時代行列が出発。「たかとり城まつり」時代行列の旗を持つ高取国際高校の生徒ら

を先頭に16団体約200人が、メイン会場までの約1.3キロを練り歩いた。

行列は、鼓城の「太鼓隊や

甲冑姿の中川町長らが参加した「高取甲冑隊」、子どもが甲冑や着物を身につけた「子ども甲冑隊」が順に姿を見せ、その姿を撮影しようとする道の人たちが、カメラやスマートフォンを向けた。

他に、橿原青年会議所は「大名駕籠」、土佐時代行列保存会の「双行列」、万葉衣装に身を包んだ県立万葉文化館の「万葉びと」、南都銀行員の「江戸両替商」なども参加。

道中に4カ所設置されたパフォーミングポイントが設置。甲冑姿に身を包む「紀州九度山手作甲冑真田隊」が関(かみ)の声を上げ、地元小学生らで構成する野球チーム「高取ホークス」らが陣を組みなどのパフォーマンスを見せた。

メイン会場まで約1.3キロの道のり

16団体
約200人が
練り歩き



行列で踊りを披露する姿を動画で撮影しながら一緒に踊る人も



道中に設置されたポイントでパフォーマンス



甲冑隊



ゴールのメイン会場前で大勢の人に迎えられた橿原青年会議所の「大名駕籠」



江戸両替商に扮した南都銀行員



高取土佐時代行列保存会の「双行列」

第36回 たかとり城まつり

城下町に響く歓声や笑い声

「第36回たかとり城まつり」(同まつり実行委員会・町観光協会主催)が11月23日、日本三

玉すだれや大道芸など日本の伝統披露

メイン会場

まつりは午前10時からイベントがスタート。メイン会場は河合茂実行委員長は「多くの人たちにお世話になり、ようやくこ

の目を迎えた。さまざまな催しで楽しみ、皆さんに思い出を持って帰っていただきたい」とあいさつ。

また、日本一の山城「高取城跡」は、県と力を合わせ整備していきます」と意気込みを述べた。

イベントのオープニングに町内を中心に活動する和太鼓チーム「鼓城」が登場し、力強い演奏を披露。演奏した「山上の風」について同チームは「高取城から吹く風が、見てきたこの城下町をはじめ、さまざまな風景をイメージして作った」と語った。

高取城を攻撃した際の銃撃戦を再現した。また、天誅組を撃退したとされる大砲をイメージした砲撃も行われた。

だれの基になったとされる富山県の「編竹踊」などを披露した。約400年の歴史がある「太神楽」の披露では、豊来家幸輝(ほうらいやこうき)さんが登場。傘の上で湯呑みや升を乗せ、回す「傘回し」や、毬(まり)とバチを使った曲芸で観客を沸かせた。最後は、口にくわえた棒の上で土瓶を自在に操る「土瓶回し」を披露し、一つひとつの技のたび、観客から歓声と拍手が起った。



周囲に大きな音を響かせた火縄銃の実演



日本南京玉すだれ協会が「編竹踊」などを披露



神楽曲芸では、豊来家幸輝さんが「土瓶回し」などの技を見せた



メイン会場では居合道実演や踊りなども行われた



試着体験ではフランスから訪れた観光客(左)が、吉田町観光協会理事長と一緒に実演撮影



飲食店などが並ぶ土佐街道は、多くの人で溢れた

展示や出店

会場入り口では、高取城関連グッズ販売や、甲冑の展示も実施。また、兜と陣羽織の試着体験も実施された。会場近くの旧高取幼稚園では、重や小物などの骨董品が並べられた「大骨董市」を開催。町のメインストリート「土佐街道」では、町の郷土料理「鍋鍋」や和菓子などを販売する飲食店、鉛細工、雑貨店などが並び、家族連れや観光客らと呼び止めていた。

第36回 たかとり城まつり

城下町に響く歓声や笑い声

「第36回たかとり城まつり」(同まつり実行委員会・町観光協会主催)が11月23日、日本三
 大山城の一つ「高取城」の麓に栄えた城下町を会場に開催された。メイン会場の高取児童公園
 では火縄銃の実演や和太鼓演奏、太神楽曲芸などが披露された。また、鎧武者や江戸両替商な
 どの姿に扮(ふん)した16団体約200人の時代行列が、町のメインストリート「土佐街道」の
 約1.3kmを練り歩き、地元住民や観光客らがカメラを向けた。

玉すだれや大道芸など日本の伝統披露

メイン会場

まつりは午前10時からイベン
 トがスタート。メイン会場では河
 合茂実行委員長は「多くのの人た
 ちにお世話になり、ようやくこ

まつりは午前10時からイベン
 トがスタート。メイン会場では河
 合茂実行委員長は「多くのの人た
 ちにお世話になり、ようやくこ

の目を迎えた。さまざまな催し
 で楽しみ、皆さんに思い出を持
 って帰っていただきたい」とあ
 いさつ。

続いて中川裕介町長は「町の
 良いところを見て、その良さを
 多くのの人に伝えてもらいたい。

また、日本一の山城「高取城跡」
 は今後、県と力を合わせ整備し
 ていきます」と意気込みを述べ
 た。

イベントのオープニングに町
 内を中心に活動する和太鼓チー
 ム「鼓城」が登場し、力強い演
 奏を披露。演奏した「山上の風」
 について同チームは「高取城か
 ら吹く風が「見てきた」この城
 下町をはじめ、さまざまな風景
 をイメージして作った」と語っ
 た。



周囲に大きな音を響かせた火縄銃の実演



日本南京玉すだれ協会が「編竹踊」などを披露



神楽曲芸では、豊来家幸輝さんが「土瓶回し」などの技を見せた



メイン会場では居合道実演や踊りなども行われた



試着体験ではフランスから訪れた観光客(左)が、吉田浩司観光協会理事長と一緒に記念撮影



飲食店などが並ぶ土佐街道は、多くの人で溢れた

太鼓演奏が終わると、大阪城
 鉄砲隊や川之江城鉄砲隊など
 が、江戸時代に実際に使われて
 いた火縄銃を手に甲冑姿で登
 場。たて続けに射撃する「つる
 べ撃ち」や「一斉射撃」などを
 行い、約160年前に天誅組が

高取城を攻撃した際の銃撃戦を
 再現した。また、天誅組を撃退
 したとされる大砲をイメージし
 た砲撃も行われた。

約400年の歴史がある「太
 神楽」の披露では、豊来家幸輝
 (ほうらいやこうき)さんが登
 場。傘の上で湯呑みや升を乗せ
 て回す「傘回し」や、毬(まり)

とバチを使った曲芸で観客を沸
 かせた。最後は、口にくわえた
 棒の上で土瓶を自在に操る「土
 瓶回し」を披露し、一つひとつ
 の技のたび、観客から歓声と拍
 手が起こった。

展示や出店

会場入り口では、高取城関連
 グッズ販売や、甲冑の展示も実
 施。また、兜と陣羽織の試着体
 験も実施された。会場近くの旧
 高取幼稚園では、壘や小物など
 の骨董品が並べられた「大骨董
 市」を開催。町のメインストリ
 ート「土佐街道」では、町の郷土
 料理「翁鍋」や和菓子などを販
 売する飲食店、鉛細工、雑貨店
 などが並び、家族連れや観光客
 らを呼び止めていた。